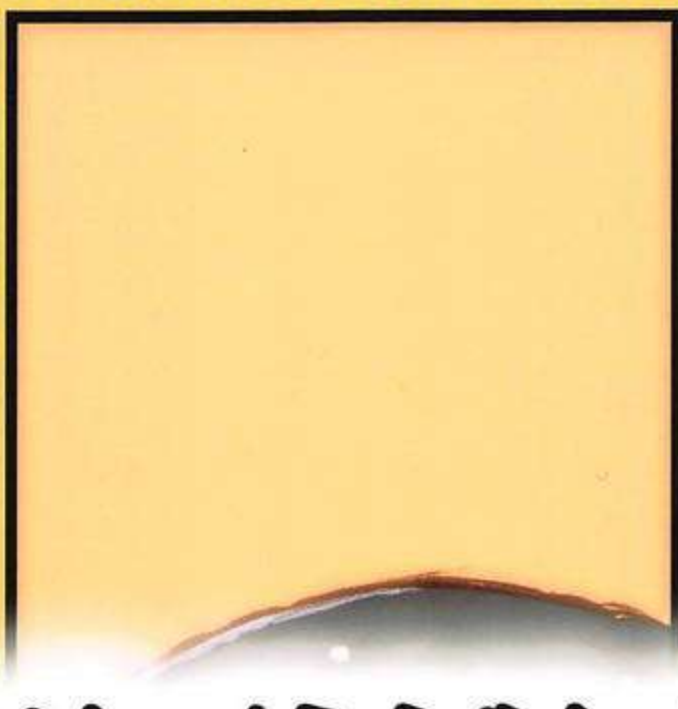
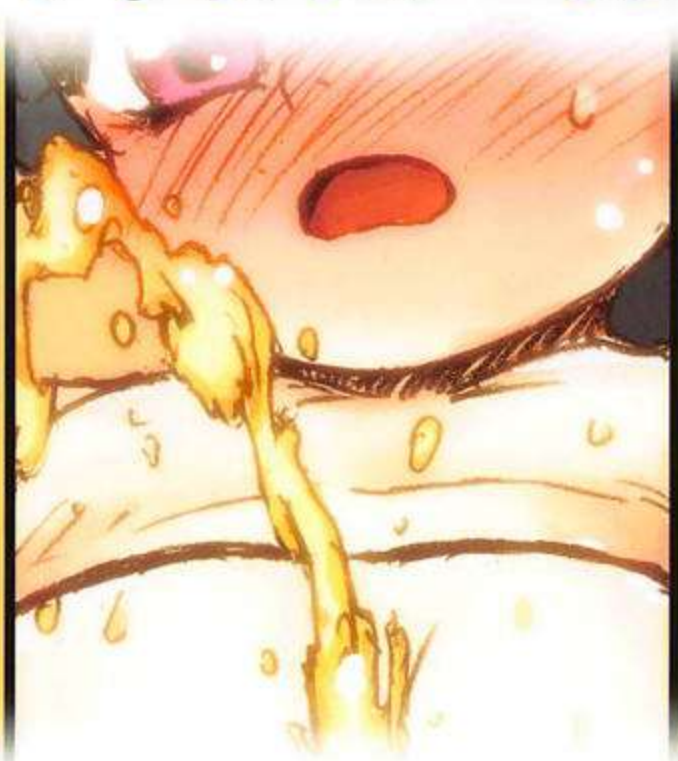


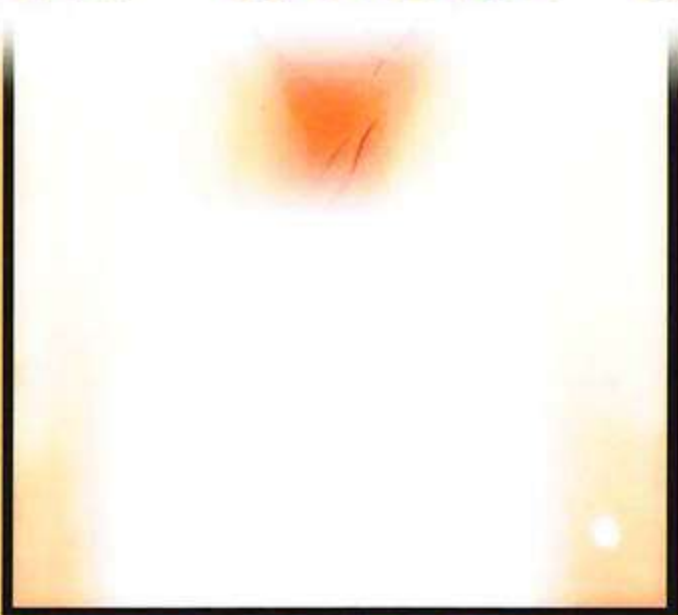
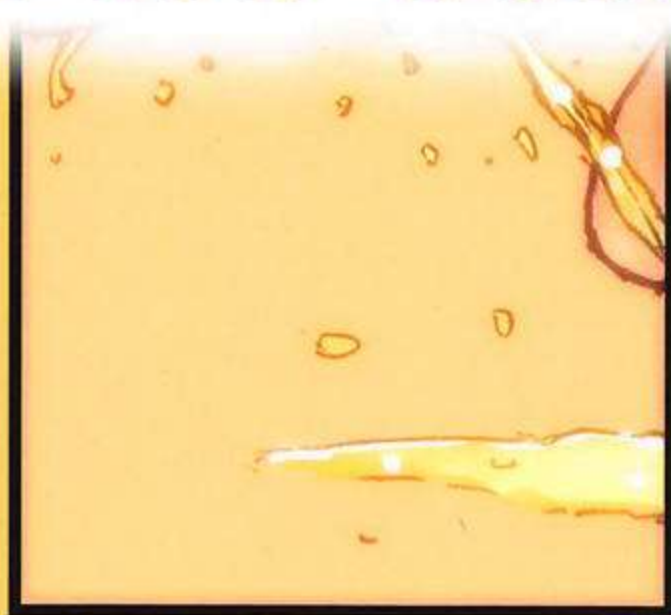
Combined Fleet Girls COLLECTION FAN BOOK



おしつこれくしょん 海防艦編



Piss-Colle ESCORT SHIPS



Volume 25 for ADULT ONLY

## ある夜の駆逐艦・海防艦LINE

shimshshshshshshshshsh しゅしゅしゅしゅしゅ……しゅーっしゅっしゅっしゅっしゅっしゅっしゅ……  
Kasumi 何 ボイラー壊れたの？  
shimshshshshshshshshsh 悪役笑いつすよ！ センスないつすねー  
Arashio\_Victory ごめんねえ。霞ちゃんまだ小さいから  
Kasumi うっさい！ なんでいきなりグループ通話に呼びつけられて煽られるのよ私！  
って、このメンバーはまさか……  
fbk\_11dg (じゃーん!) まさかの時のエロ撮影！  
shimshshshshshshshshsh 海防艦すぺしゃるっしゅ！  
Cloudy05 本当にやる気だったのね……初期秘書艦の私が今更言えた義理じゃないけど、  
さすがにこう、どうなの、こんな年恰好の……  
shimshshshshshshshshsh 大丈夫っしゅ！ 駆逐の人たちの手は借りないつすから。占守たち  
で自主的にやるつすよ！  
CD\_KUNASHIRI ……と、いうことになってたので  
104S\_FK よくわからんが、択捉姉さんたちとお互いを撮ればいいらしい  
Sadosama 見学自由だからあんたら座って見てな！ ああ朝風さんはあとで呼ぶかんね  
Morgenwind うえ!?! そ、そうなの？  
Matz\_dg07 あーあ。これで姉貴も言い訳できない立派なろりこんか……  
Sigg こないだあんな痴態晒した君が言えた筋合いじゃないよね？  
Matz\_dg07 黙れよシスコン黒ぱんつ  
shimshshshshshshshshsh セイセイセイ！ ノー喧嘩っしゅ！  
Micchie ったく、小さい子の前でみっともない  
mtw あの……仲良く、しましょう……？  
Morgenwind ごめんね松輪。2人とも意地っ張りだけど本当は仲良しなのよ  
mtw そうなんですか……？ 朝風さんが言うなら……  
Mutsukinyan そういえば、朝風ちゃんと松輪ちゃんも仲良しさんなのかにゃ？  
mtw あ、はい……一海護隊で……  
Sadosama おう、朝風さんや春風さんは戦友さ！ 太平洋でドンパチやってるあいだ、  
海上護衛で東シナ海を駆けずり回ったもんだよ  
Morgenwind 考えてみれば、あんまり海防艦とは縁のない駆逐の子が多いかもね。みんな  
は艦隊決戦、こっちは海上護衛だもの。ああ占守はそうでもないか  
3Sd\_19dg\_Ayanami 占守ちゃんは南方作戦のころ、綾波たちより偉かったですから  
fbk\_11dg 「軍艦」占守だったもんね  
shimshshshshshshshshsh しゅーしゅしゅしゅしゅ……でも昔の話つすけどね。それにあとの  
ほうは、駆逐の人たちも海上護衛に来てくれるようになって賑やかだったっしゅ！  
Kasumi ……まあ、そこまで前線が後退したってことなんだけどね  
Sigg ……………  
Kissa30 はいはい、積もる話はあ・と・で。せっかくお招きにあずかったんだもの、  
楽しませてもらいましょう？ 如月、今からドキドキしちゃう♥  
fbk\_11dg 吹雪、今からハァハァしちゃう♥  
Cloudy05 それこそ後になさいよ！  
shimshshshshshshshshsh しゅしゅしゅしゅしゅ、お見舞いするつすよ！ 楽しみにするっしゅ！  
CD\_KUNASHIRI か、神風さんに……見せる……えい、海防艦は思い切りが大事よ！

(名前を入力してください) ええと……あら？ みんな退室しちゃったのかしら？  
tsu\_shi\_ma 待って、ました。行きましょう……

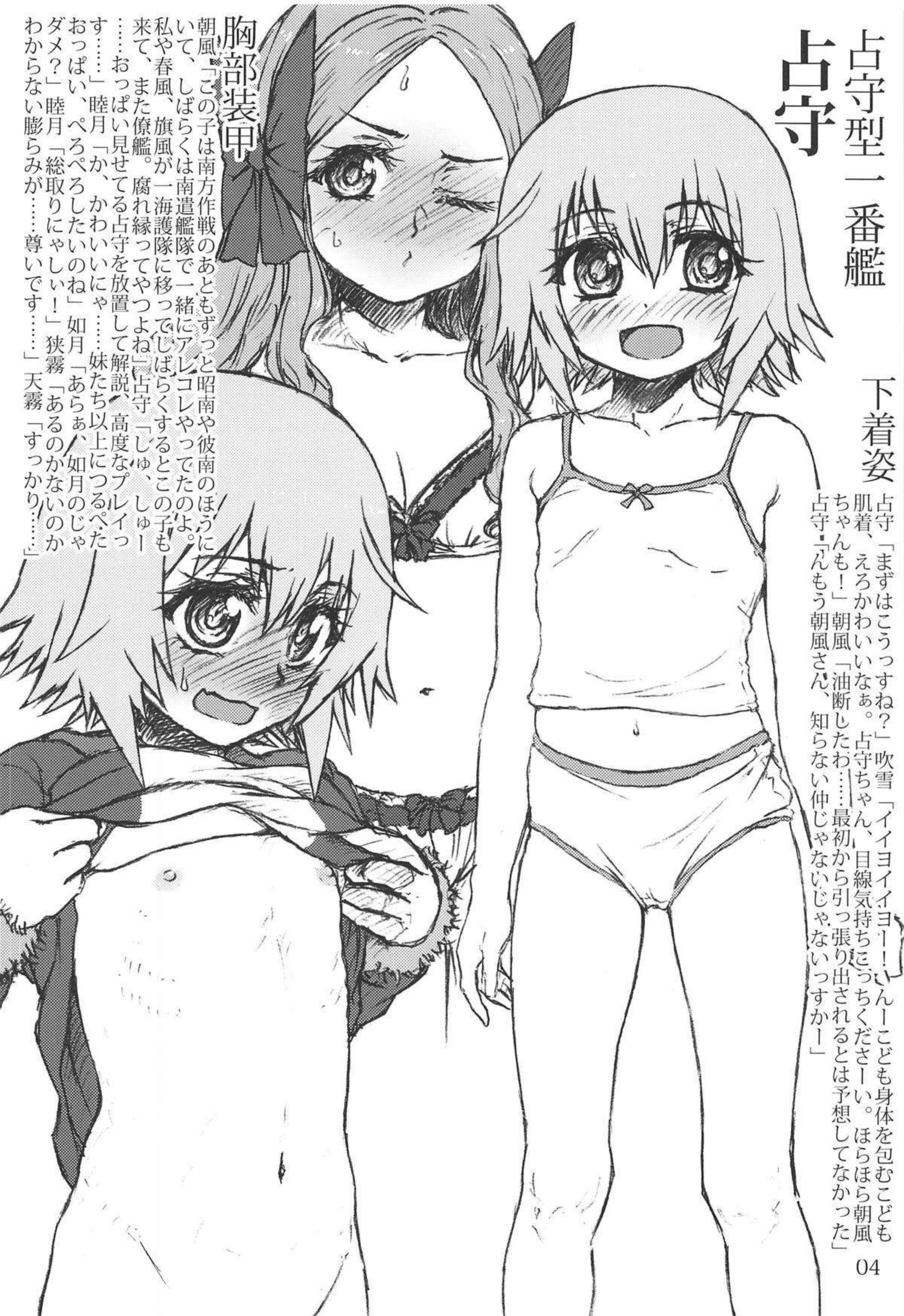
# 占守型一番艦 占守

## 下着姿

占守「まずはこうつすね？」吹雪「イイヨイイヨ！いんーこども身体を包むこども肌着、えろかわいいなあ。占守ちゃん、目線気持ちこつちくさーい。ほらほら朝風ちゃんも！」朝風「油断したわ……最初から引つ張り出されるとは予想してなかった」占守「んもう朝風さん、知らない仲間じゃないじゃないっすかー」

## 胸部装甲

朝風「この子は南方作戦のあととずつと昭南や彼南のほうにいて、しばらくは南遣艦隊と一緒にアレコレやってたのよ。私や春風、旗風が海護隊に移つてしばらくするとこの子も来て、また僚艦。腐れ縁つてやつよね」占守「じゅ、しゅー……おっぱい見せてる占守を放置して解説、高度なプレイっす……」睦月「か、かわいいにや……妹たち以上につるべたおっぱい、ぺろぺろしたいのね」如月「あらあ、如月のじゃダメ？」睦月「総取りにやしい！」狭霧「あるのかないのかわからない膨らみが……尊いです……」天霧「すっかり……」



# 陰部

吹雪「……!」陸月「阿波踊り踊ってるにや」綾波「たぶん、言葉を失ってぜすちゅあで訴えているんだと思います、かわいいかとうとか興奮するとか」霞「つ、こ、この、ロリコンめ!!」満潮「……ごめん霞、不覚にも少しきたかも」荒潮「ちよつと、お毛毛育ったんじゃないやない?」吹雪「隣の占守ちゃんのお毛毛の割れ目との対比が美しいですね」皐月「あつ復活した。ていうかキヤラ変わってない?」初春「賢者もおどというものじゃな」

# 性器

佐渡「おお、ここ広げたらこんなふうなんだな」占守「け、け、けっころどきどきするつす。かす……みさん、どうつしゅ?」霞「私!? う……ごめんそうなのは」満潮「なんかあんた、腰が引けてるわね?」時雨「……君が沈んだあとの話だけど、レイテ島へ陸軍さんたちを送る作戦に一水戦が投入されてね。陸軍さんを比島まで護衛してきた占守だちも、輸送部隊に放り込まれたんだ。まあ……大変だったみたい」占守「霞さん、責任……感じてるつしゅ?」霞「……あたしが、指揮してたのは事実だから」占守「……たしかに寝耳に水だったつすけど、占守のお仕事つすから。占守がんばったつす!」霞さん……また会えて、嬉しくない……つしゅ?」霞「……嬉しくないわけ、ないじゃない!」ばか!





# 胸部装甲

国後「し、色即是空色即是空」狭霧「やだ、お胸の先がふっくりしててかわい〜い」吹雪「いかにも育ち始め感がシコ尊い」叢雲「姉の日本語の乱れが嘆かわしいわよ!」国後「し、しぬ」占守「ボイラ! だいたいぶあつたまつてるつすね、クナ。」さあ、お待ちかねの人が来るつすよ!」国後「えっあつちよま、こ、心の準備があ!」……国後、ちゃん

# 占守型二番艦 国後

## 下着姿

初霜「あ、あの。かわいい……です」国後「うあ、あ、ありがとうございます。子曰さんは元氣?」初霜「ええ、とつても。姉さんと仲良くしてくれて、嬉しいです」初春「堅苦しいのう。二人とも、もそつと近う寄れ」綾波「なんだか珍しい人が」初霜「北方にいたころの仲間なんです。キス力島撤収のときも、いっしょに給油艦を護衛したり」睦月「にやるほど。そういえばクナちゃんはずぶらなのね。かぁいい♥」占守「しゅしゅしゅ、海防艦のすけべ粹つすよ!」国後「ね、姉さんっ!」

# 陰部

国後「お、あ、くけ」占守「クナ落ち着くつす！人の言葉を話すつしゅ」吹雪「え、う」叢雲「アンタまで言葉失ってどうすんのよ！」吹雪「もう言葉は要らないんじやないかな（真顔）」綾波「ひると思えます……」朝風「……ごくり」神風「あ、あまりまじまじ見つめないで……」如月「んふん……」三人ともスレシンドラだから割れ目がしゅつとしてよく見えるのね。すぐくそそるわ」国後「きゅう」神風「だ、大丈夫？……」国後「ちやんとはね、長い付き合ってたのよ。千島のほうにいて、同じ部隊で。少ない兵力で走り回ってたから行動はいつも別々だったけど、私が南へ行って、戦いが終わって、最後の最後にまた会えたのは、きつとそういう運命なのね。国後ちゃん、私、何も後悔していませんよ」国後「……う、ぐす」神風「な、泣かないでよう……」



## 性器

神風「……綺麗。ね、初霜ちゃん、見て」初霜「わ、わあ……小さいのね」国後「……子供っぽい、ですか？」神風「ど、どうかかな……私も、そんなに変わんない、と思うから。……ほら」国後「うくつ」占守「わわっ、クナ、鼻血で大惨事つす」朝風「これは……なんか、すぐ背德的な光景ね」狭霧「ろ、ろりれずっていうんでしようか」天霧「最近、狭霧を時々遠くに感じるんだあ……」初霜「あの、神風さんも、国後さんも、すてきですよ」

# 放尿

皐月「ご、これは……興奮するなあ」「占守」「しゅしゅしゅしゅ、クナのりくえすとつすよ、神風さんとの連れしゅしゅしゅ」  
 如月「あゝら♥」国後「そ、その」神風「艦娘になつてか  
 らも一緒に輸送とか哨戒とかするけど……そのお外で用  
 を足すとき、別々だったものね。ね、見たかったんでしょ  
 う？私の……おしっこ。よくつてよ。私にも、見せて……  
 ん、出……る」国後「あ、あたしも……」初霜「……じゅ  
 る」神風「……すごいしゅしゅしゅとつて出るのね」国後「か、  
 神風さんのもの、勢い……いい、です」神風「……えっち  
 国後」「……あの、あたし」

# 交歓

吹雪「三人とも気持ちよさそうだなあ……」  
 潮「それに幸せそう……潮、こういうところ  
 見ると、いつも……涙が、出ちやいます」霞  
 「大げさね、もう」満潮「ぐす、あんだたつて  
 目が真っ赤じゃない」初春「かような行いが、  
 わらわたちには必要なのであるうな。初霜も  
 わらわど、致してから色々吹っ切れたよう  
 じや」時雨「あんな顔……する子なんだね。  
 綺麗だ」松風「あつ……」朝風「神風姉……  
 おしっこ飲んでる……いいな」占守「……  
 よかつたつすね」クナ「……」



# 択捉型一番艦 択捉

## 胸部装甲

佐渡「えと、もーちよい真ん中寄んな。そそ。おーフカいいねえその姿勢。そんで二カッて……あーまあ顔はいいや」福江「うーん……やっぱりよくわからん。しむしゆしゆしゆ、この行事は何なんだ？」占守「健康診断みたいなものつすよ。脱いだりするっしょ？」択捉「健康には気をつけているつもりですけど……。嫌いしませんし。トマトだつて食べますし」

# 択捉型十番艦 福江

国後「う……かわいい。でもこうして見ると福江のほうがひきしまってるかも」福江「まあ、運動は欠かさないからね。択捉姉さんはちよつと甘いものを食べすぎだ。というか、司令や間宮さんから甘いものをもらいすぎだぞ」択捉「うう……だつてみなさんのご好意を無碍にするわけにも……」

吹雪「全然おっぱいの話してないところが生々しくて、心のおちんちんに悪いです。十二三四五三四点」叢雲「何の講評よそれ……」



# 下着

扱扱「こ、これはちよつと恥ずかしいです……」福江「よ、汚れてなんかないぞ!? そのへんは気をつけてるんだ」睦月「にやにや、これは……なかなか……」如月「こ、子供用のぱんつ……だわね」大東「べつつに、ぱんつなんていつも見えんじやん? あたいのも見るかい?」対馬「大東ちゃん、あ・と・で」吹雪「はあ……」NUM・AMI・DABUTZ「叢雲「子供のぱんつを拝むな」



# 陰部・性器

択捉「や、やっぱりあの、裸になつて、おまた……見せるんですね」  
占守「ささ、思い切りが大事つすよ！ 択捉ちゃんも自由つしゅ！」  
択捉「え、えい！」吹雪「……綾波「吹雪ちゃん？」吹雪「すごく可愛いよ、択捉ちゃん」叢雲「こいつ、イツて賢者になつてるわ……」  
睦月「ふおおお……占守ちゃんや国後ちゃんとかが……」福江「すごいから、割れ目も少し下つきなのね……幼女にやしい……」  
観察眼だな……よほど優秀な見張員がいるのか？」

択捉「こ、こんなところ見るのも触るのもはじめてなので……」  
ですか？」吹雪「……潮「吹雪ちゃん……ちよつ、ここでいじいじするのダメです！」霞「イヤもういいんじゃないどうせするところ撮つてんだし」初霜「こんな投げやりな霞さん、初めて見ます……」  
皐月「はえ……ほんとの小さい子のつて、ひだひだも全然ないんだなあ。暁ちゃんのより小さいや」如月「クリちゃんがつっぽり隠れてるのね……如月も、今すつごく濡れてるの、興奮して」睦月「うわ本当ぐつしより……ねえ……あつちで、する？」





福江「べ、別に裸になるくらいはなんてことない！ ドックではみんな裸のつきあいじゃないか。さあ、佐渡姉さん、好きなだけ撮ってくれ」  
佐渡「あいよお！！ イヒ、フカの肌はすべすべしでんな」狭霧「少し、割れ目のかたちが択捉ちゃんと違うんですね」吹雪「やつぱり個人差があるよね」叢雲「(他人のふり)」大東「でもよし、なんであたいら、ここにちんちんねーんだろーな？ ていうか男いねーよな」

荒潮「こ・こ、男の子のおちんちんに相当する場所なんですって」大東「マジで？ ちつちええな」福江「あう！ さ、触るんじゃない！」如月「めっ。敏感なところだから、乱暴にしちゃダメ」大東「そっかあ。ごめんな、ちびちんちん」荒潮「うふふ、かわいい。そこはクリトリスっていうのよ」択捉「あの……択捉のもですか？」如月「ええ、もちろん」択捉「べ、勉強になります！」福江「あたしも、あとで復習しないと」満潮「ああもう心が痛いわ、こんな真面目な子たちの……」

# 放尿

択捉「お、おしつこですか？ 作戦行動中は海でこう、しゃがんで普通に……本当にここでしていいんですか!? じゃ、じゃあ……」  
 睦月「わあ、ちよーって出てる……綺麗にやしい」吹雪「はあ……」  
 「うう、長女なんですけど」佐渡「エトは佐渡サマやマツよりも来るのが遅かったかんな。あんまいっしょに護衛する機会はなかつたんだ。今じゃこんなふうな連れジョシもすつけどな! おつ、シヨシベン終わったか? エト」択捉「……なんだろう。ただのおしつこなのによろしく、へんな……きもち」福江「……択捉姉さん、福江が掃除するよ」



## 後始末

択捉「んうっ」福江「へ、変な声出すなよ姉さん! 栗と……なんだつけ、触らないように……あれ、なんか姉さんのおまた、拭いても拭いても濡れてるぞ?」  
 択捉「ふか……えちゃん、もつと、ぐりぐりして、上のところ」福江「えっ、いいの?」だつてここ  
 如月「今はね、ぐりぐりしてあげたら択捉ちゃんもよ。ても気持ちよくなるのよ。ね、してあげて」福江「そ、そうなの?」福江「あ……」  
 択捉「あ、あ、」福江「きもち……いいの?」福江「きもち……いいの?」姉さん

福江「なんだかあたしも、択捉姉さんのおしっこ見ててへんな気分になつてきた……。あ、あたしもするんだよね？」占守「モチのロンっすよ！いつもの調子でここに、じゃーっとお見舞いするっしゅ！」福江「じゃあ……。あ、下がったほうがいいぞ、あたし……。なんか勢い強いんだ」松風「うわ、本当だ。音もすごいね」占守「さすが一〇四戦隊旗艦っしゅ！」福江「関係あるのかそれ……。んーもう少し出る」如月「……。終わった？元気のいいおしっこだったわねえ。如月……。とつても興奮したわ」択捉「……。あの、お返し、です。択捉が、後始末してあげる」

福江「ね、姉さん!? 汚いから!」択捉「おそうじ……。しないと、おしっこ……。味……。おいしい。占守「スイッチ入ったっすね。福江ちゃん、は……。今……。ここに……。択捉型ではひとりだけ第二海上護衛隊に……。太平洋のほうで……。お仕事が長かったっす。東シナ海に来て……。しばらく……。北方へ……。行ったから……。あんまり他のみんなとは会って……。いなくて……。でも、終わりのほうでは……。四戦隊の旗艦になつて……。占守や択捉ちゃんのボスだった、働き者の海防艦っしゅ！」



択捉型三番艦

佐渡

択捉型二番艦

松輪



# 日振型一番艦 日振



## 下着

「大の字、どーだ？」「おう、いい具合に撮れてんぜ佐の字よお」威勢のいい女兒ふたりの声が響く。かたや上着を脱ぎ、スカートをまくってタイツを下げ、意外にかわいいドット柄のぱんつを晒す佐渡。もう一方はどこからもってきたのかベレー帽なんかかぶって、カメラを回している大東。「イヒヒッ、もつと近くで撮ってーんだぜ？」「近すぎだつもの！ それじゃ何も映りやしねえよ！」

字面で見ると似たような口調だけど、微妙に違う。もつと深く付き合えば、全然別の個性だつてきつとわかるんだろう。「おーし、松の字！ もつと佐の字に寄つてくんない！」「なんだなんだあそのへっぴり腰は！ ホレ、もつと腰を前に！ ぱんつ見せろい！」「ふ、ふええ」目を回す女兒——松輪が、それでもやけくそ気味にスカートを胸元までひっぱり上げ、裸の胸を隠しながらまくっているものだから、ぱんつどころかすべすべしてそうなおなかもおへそも丸出した。「だ、大胆だなあさっちゃんも、何気にまっちゃんも」傍らで赤面しつつ苦笑する、少しだけ背の高い四人目……日振。下着姿の女兒三人が、女兒に撮影されながらきやいきやはしゃぐという、ある種の人々には垂涎ものの光景だ。

「やれやれ、こんな小さい子でも、女三人寄ればなんとやら、ねえ」頭に大きな蝶々をつけた美少女が、あたしに同意を求めてくる。彼女……朝風の目を、まともに見返すことができずうつむくと、正面から追撃がきた。「どうだい、佐渡サマのぼでーは。おーい藤波さんよお、ちゃんと見てくれよな！」

……択捉型二番艦・松輪。同三番艦・佐渡。日振型一番艦・日振。あたし——夕雲型十一番艦・藤波が護衛に失敗して壊滅的な損害を出した輸送船団、ヒ七十一船団の対潜掃蕩にあたり、撃沈された海防艦たちの“今”の姿だ。



## 胸部装甲・陰部

あ号決戦だなんて息まいたわりにまったくいいところなくボロ負けし、機動部隊が鉄くずと化してしまったあと、あたしは遠回りをして一ヶ月近くも経ってから呉へ戻った。八月、油の不安だけはなかったリンガ泊地へ向かうついでに、あたしは大掛かりな輸送船団の護衛隊に加わるようになった。それが七十一船団で、南方から石油を運ぶタンカー八隻、比島へ陸軍部隊を運ぶ輸送船、速吸さんや伊良湖さんなどなど、多いときで総勢二十隻もの輸送船を、対潜哨戒用の護衛空母だった大鷹さんや多くの海防艦・駆逐艦で護送しつつ、門司から台湾・マニラ経由で昭南まで向かうという気合の入りよう。もっとも、こんな船団に何故か華の二水戦のあたしが混ざっていたあたりで、状況はお察しなだけで。

果たして、覚悟を決めて台湾・馬公を出撃し、潜水艦の跳梁跋扈するルソン海峡を渡ろうとしたとき、船団は潜水艦群に捕捉され、そして食い荒らされた。三十隻近い船団のうち、かろうじてマニラへたどりつけたのは十隻以下。そこに大鷹さんや佐渡、松輪、日振の名はなかった。やせ細った船団の生き残りを護衛しつつ昭南へ向かったあたしが、リンガへ着いて浜ちん……浜波と落ちあったのは九月に入ってから。

船団護衛については、思い出したくもないような出来事がいくつもあった。そのなかで、これはとびきりだ。おかげで“今”、再会できた大鷹さんや朝風（彼女は途中で船団から分離したあと、別船団の護衛中に沈んだという）、目の前の海防艦三隻とも、あたしは距離をおいてきた。今回の乱痴気騒ぎにおよばれたのなんか、そのことも含めて罰を受けるんだとさえ思ったほどだ。

いや、ていうかね？  
全裸の海防艦娘三人を前にして、年頃の乙女たる（文句ある？）藤波に何を言えと？



藤波 (いや本当何を言えつての! あたじそんなろりこんじやないもん)  
朝風 (なんかこう、あるでしょ? 割れ目がかわいいとか) 藤波 (変態  
か! いや、そりゃ、一般論として……かわいいとは、思うよ? ちっ  
ちやい女の子として。でもなんかその、ふにふにしたいとか、ぺろぺろ  
したいとか、くちゅぐちゅじたいとかさあ、ダメでしょさすがに)

朝風 (……なんかすごい単語の羅列に出くわしたような) 藤波 (あんた、  
どうなの、だったら。なんか感想あるの?) 朝風 (ま、まああたしも別  
にそういう趣味じゃない……つもりだけど、三人の中でなら松輪かな)  
藤波 (ナニが?) 朝風 (……おまたの形) 藤波 (……)







「ホラホラホラホラ、佐渡サマのおまたも見てくれよ！ キヒツ、なあ、マツやヒブのとどつちが強い？」 「……あー、うん、かわいいわよね、ぴんく色で」「藤波あんたねえ」「さ、さすがに無邪気すぎて心が痛いので」「あんだよー、こんなとこ滅多に見ないだろお？ しっかり見てくれよう」「うう、だって完全に『ろり』の範疇すら飛び越えて幼児のまんこじゃん、なんもかもちっさくて」「それに鼻先押し付けてオナつたのどこの誰よ」「ぎやふん……」「『おな』ってなんだ？ 食えるのか？ 美味いんか？」 「まあ、朝風は……大好物、よ」



## 放尿



結局全部虚勢だ、なんて最初から自覚してた。これまでだって何度も、あたしは目を合わせられなかつたりした人たちと、こういうやりかたでわだかまりを溶かしあい、絆を深めてきた。その相手が、いまは、幼い姿の海防艦娘であるだけの話。「さあ」朝風と、両方から松輪を抱きかかえ、足を少し広げさせて排尿をうながす……昔ならオスタップと呼んだ金だらけへ。「出ます……」蚊の泣くような声、ほどなく、ちよろ、ぴちよ、ちよろろろ、しゃああ……という具合に、開き気味の割れ目からおしつこが吹きだし、オスタップめがけて放物線を描く。「すげー……マツのションベン、こんな近くで見んの初めてだよ」「ごくり……かわいい……ドキドキする」僚艦の排泄をまじまじと見つめる佐渡と日振。そうだ、あたしも……藤波も、鳥海さんや浜ちゃんとこうして……

「オ、オスタップにおしっこするなんて、  
バツター十本じゃ済まないような……  
ビビりまくりながら興奮している日振。  
でも大丈夫。あたしたちは自由なんだ。  
やがて、しよろろろろ……と甲高い音。  
案外遠慮なしに、薄く色づいたおじっこ  
を勢いよく注ぐ日振。優等生然とした彼  
女には想像もできないような行為なんだ  
ろう、少しおかしいなテンションだ。ひど  
く短かった艦歴のぶん、今”の日振に  
は、存分に第二の生を満喫してほしいと、  
あたしは真面目に思ってる。



「見とけよ見とけよマツ、佐渡サマがどんどんお見舞い  
するぞお。大の字、これでいいかあ？」「おう、ばつち  
りさね！」そのまんまやっちゃまえ！」「よっしやあ！」  
こっちはこっちで、「お尻を突き出して後ろ手にまんこを  
広げた佐渡がすごい体勢で放尿を始めた。器用なことに  
広がりきらない陰裂に沿って縦に広がり気味のおしっこ  
は、飛び散るかと思いきやあやまたずオスタップの中へ、  
オスタップは今や女兒三人分の尿で満杯になりつつある。  
これ……どうすんの？」



# 性交

気がつくと、五人で組んずほぐれつ、……隠しようもないけど、レスセックスに雪崩れこんでいた。佐渡のまんこをついばみ、新たに湧き出たおしっこを飲みほした。ヒ七十一船団編入の直前まで一緒に別の船団を護衛していたという朝風と松輪が、互いに三回ずつイカせあっていた。あたしも日振と佐渡に同時にまさぐられ、お潮を吹いて、とうとうおもらししてしまっただ。それを丁寧に舐めとる日振と松輪……いつしか、五人とも大泣きに泣いていた。わんわん泣いた。小さな海防艦の前でみっともない、なんて思う余裕もなかった。ごめん、ごめんなさい、ありがとう、かなしい、うれしい、何もかも混ざって、涙や愛液や尿といっしょにすっかり流れ出たようだった。

こうなったあとどうなるかはよく知っている。しあわせに、なるんだ。



# 択捉型七番艦 対馬

# 日振型二番艦

# 大東

# 下着

「へっへん、新品だぜ。どや!」 「どや……」 目の前でポーズをキメる、いたいけな海防艦ふたり。下着姿の披露と、いつつぱん一枚なのでお胸は丸出しである。まあ、まだ男の子と区別つかない程度だけ…… 「うん、可愛いわよ、ふたりとも」 うまく笑えたかしら? いやいよ海防艦娘も、という内意を占守ちゃん、と提督さんの双方からいただいたとき、正直、予想はしていません。この二人とふたたび、交わることになるだろうと。対馬ちゃんと大東ちゃん。私にとって、特別な…… 「あなたも、脱いで」 「……はい」





# 香取型三番艦

# 鹿島

ここで呼ばれたか、という感じですか。私のお仕事はたくさんあったから。一度きりの、それも途中で切り上げた練習艦隊の遠洋航海。第四艦隊旗艦として南洋部隊のラバウル攻略やポートモレスビー作戦を指揮。中部太平洋から引き上げて呉練習艦隊に身を置きつつ、南西方面への輸送任務。そして第一〇二戦隊旗艦として、輸送護衛や対潜掃蕩。最後は復員船……いろいろな艦や人とかわって来ました。そのなかで対馬ちゃんとか大東ちゃんは、戦争も終わりがけのころ実施した中国、朝鮮沿岸の対潜掃蕩作戦で、私の指揮下にあった海防艦。今いるなかでは、最後にかかわった大切なふたりなんです。……し、下着のことなんかどうでもいいじゃないですかあ！

## 胸部装甲・陰部

「おおお、鹿島さんやっぱ、おっぱいでけーなあ。おまたのお毛毛も、銀色でふさふさしててかっけー」



はい、もう、一糸まとわぬ姿、全裸です。  
エロ同人みたいじゃない！……わ、私が照れて  
ちやダメですよ、小さい子たちの前で。  
まあ私の身体のことなんか置いて、  
置いときます！ 本当に、幼児体型ですよ  
ね、対馬ちゃんなんか。おなかがぽっこり出  
ていて、割れ目が深くて。大東ちゃんは逆  
に、丸みが少なく成長期を迎える前の女  
の子って感じですか。鹿島も立派なろりこんで  
すよお！




「おっきいおちち……かしまママ……？」  
ふふふふふふ……

# 性器

ごくり……。対馬ちゃんの大陰唇に指を押し当てると、見た目どおりふにっと指が沈みましたが、このあたりはそんなに脂肪やお肉はない場所。そのままそつと広げて……。ああ、完璧。完璧に、おしっこを出すことくらいにしか使わない、幼女のおま……。たです。い、いいじゃなく、逆にかかどんな単語で表現しても！ほら、クリちゃんは全然見えなくて、逆に包皮が大きいんですよ。成長すると、下のびらびらとかが発達するんですよ。……。キラキラして、綺麗でしょう。お風呂でもちゃんと洗うよう教えていますから。え？……。ええ、今でも、おつきあいはありますよ。本当、あのころは対馬海峡でさえ大変でした。

大東ちゃん、自分からまんぐり返しの体勢になって、片方だけ指で広げてくれました。対馬ちゃんよりはちよつと育っている感じ。不思議ですよね、日振型海防艦は戦時急造で、択捉型より工数をかなり減らしているの、煙突が楕円形じゃなくて六角形だったりして、あちこち直線的なデザインだったんですけど、それが「すれんだーり」体型に表れるなんて。船神さまって……。だいぶん変態さんですよ、正直。





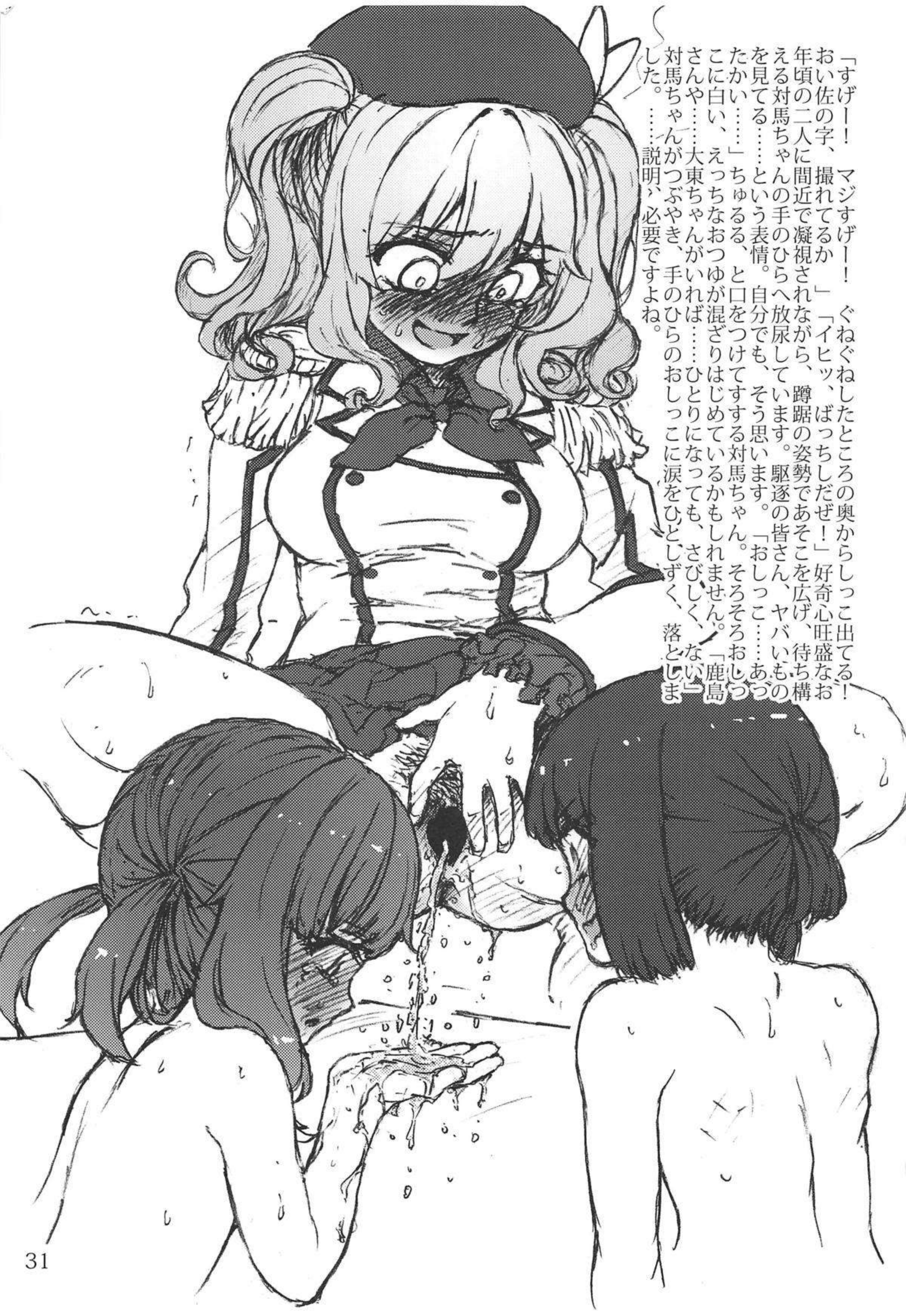
「すげーあたいらのと全然違うよな、鹿島さんのおまた」 「びらびら……とるとる」こ、好奇心旺盛なお年頃の海防艦ふたりに、大事なところを好きなようにいじられていきます。正直……さつきから気持ちよくなってます。「ホラっっしー、見てみ」おつゆをすくいとつた大東ちゃんがいびよんと糸をひかせて遊んでいます。「……す。け。べ」何故か私に視線をくれる対馬ちゃんですが、目の焦点が合わず、頬はすっぴん上気しています。ちよつと不思議な雰囲気の子ですけど、いたって普通の子なんでしょうよ。……いろいろあるんです。対馬ちゃんがあんな感じな理由。あッ、ゆ、指は入れちゃダメです！

# 放尿

「鹿島さんに見せたげようと思ってさ」ひよいっとぱんつを下ろし、ワンピース型制服のすそをからげた大東ちゃん、少し腰を落とすとそのまま立ちしよんを始めました。女の子なのに、割れ目を広げるでもなく器用に前のほうにおしっこを飛ばしています。正直、すくつて飲み干じたいです。



「対馬も……おしっこ、しま……す」隣で椅子にひざを立てて座った対馬ちゃんが、おまたただけ出す感じでぱんつを少し下ろし、指でくぱ……つと広げた状態で、ちろろろ……とかわいらしい、薄黄色の放物線を描いています。「上手に、おしっこできてますよ」「よかった……です」涙目で、恍惚と微笑む対馬ちゃん。「みんなにも……褒めて……もらえるかしら」ちく、と胸が痛みました。少し記憶の混濁が生じているようです。



「すげー！ マジすげー！ ぐねぐねしたところの奥からしっこ出てる！  
おい佐の字、撮れてるか」「イヒツ、ばっちしだぜ！」好奇心旺盛なお  
年頃の二人に間近で凝視されながら、蹲踞の姿勢であることを広げ、待ち構  
える対馬ちゃんの手ひらへ放尿しています。駆逐の皆さん、ヤバイもの  
を見てる……という表情。自分でも、そう思います。「おしっこ……あつ  
たかい……」ちゆるる、と口をつけてすすす対馬ちゃん。そろそろおしつ  
こに白い、えっちなおつゆが混ざりはじめているかもしれない。「鹿島  
さんや……大東ちゃんがいれば……ひとりになっても、さびしく、ない」  
対馬ちゃんがつぶやき、手ひらのおしっこに涙をひとじり、落としま  
した。……説明、必要ですよ。

## 鹿島、語る

対馬ちゃんは昭和十九年の二月、貨物船と衝突したときに爆雷が誘爆して艦尾を喪失してしまい、西貢や昭南で半年以上も入渠修理していました。その間に前線はどんどん押し上げられ、東シナ海は敵潜が暴れまわるようになり……彼女の姉妹や僚艦、たとえは佐渡・松輪・日振といった子たちは次々と失われたんです。レイテ沖海戦の直前によりやく出渠したとき、戦況も船団輸送の様相も三海護隊の陣容もすっかり様変わりしてしまいました。





日振ちゃん沈んだとき、二番艦の大東ちゃんは竣工したばかりで、呉で錬成を行っていた最中でした。建造時期はほんの少ししか違わないのに、その違いのため、大東ちゃんは「昔」、姉と一緒に戦うこともできなかったんです。その後二隻は第一〇一戦隊に編入され、ヒ船団の護衛にあたります。戦隊旗艦は……私の妹の香椎。そして昭和二十年に入り、ヒ八十六船団を護衛中、対馬ちゃんは損傷を受けて海南島へ退避し、船団の本隊と分かれて修理を行っていた。……その間に……船団は南シナ海まで侵入してきた敵機動部隊の攻撃をまともに受け、輸送船は全滅。妹も……香椎も沈みまじった。大東ちゃんは数少ない生き残り、対馬ちゃんと合流してなるとか内地へ帰り着きました。そのあとはもう大規模船団輸送どころじゃなく……私が一〇二戦隊の旗艦をおおせつかったのは、妹が沈む直前でした。……自分のいないところで大切な仲間がいなくなる……こんな感じに、自分のいないところ、対馬ちゃん、大東ちゃん、……という経験を共有しているのが私と対馬ちゃん、大東ちゃん、……す。特に対馬ちゃん、心の傷はかなり深いみたいで……でも、少しづつ笑顔を見せるようになってきました。他の海防艦たちと距離をおかず笑いあえる日は、そう遠くないと……鹿島は信じています。



おしっこれくしょん 駆逐艦編 六  
Combined Fleet Girls Collection FAN BOOK Vol.25

発行日 2018年11月11日

発行サークル LUNATIC PROPHET  
pixiv id=92903

発行人 有村悠 Yuu Arimura  
e-mail edgeoftheseason@gmail.com  
twitter id=@lp\_announce

印刷所 株式会社 くりえい社  
web <http://www.kurieisha.com/>

produced by Lunatic Prophet  
2018.11.11.

危険がいっぱい... × × もいっぱい...